

一日目(十一月十六日)

学校だより 月報

12月号
出雲農林高校
PTA

農業祭一日目は、わなか農園の生越大地さんによる講演会からはじまり、研修の発表、出農太鼓の力強いパフォーマンスや教員参加の吹奏楽部の演奏がありました。最後は、生徒会の企画イベントで出農に関するOXクイズを行い、全校生徒みんな大いに盛り上がりました。



一日目(十一月十七日)

あいにくの悪天候でしたが、早朝より冷たい雨が降りしきる中、多くの方にお越しいただきました。食の広場や校内の展示などにも足を運んでいただき、あちこちに笑顔があふれる一日でした。



農業祭の感想（実行委員＆各科三年）

生徒会長 環境科学科 塚本 宗一郎
 今年も生徒一人一人が協力し合い、素晴らしい農業祭を作り上げることができました。
 一日目のオープニングイベントでは、文化部の発表や生徒企画による出展クイズなどの催し物で、生徒だけでなく先生方も一緒に盛り上がり、とても楽しい初日となりました。私は生徒会長として、農業祭を盛り上げるための企画を、生徒会、農業クラブ、家庭クラブのメンバーと協力しながら考えましたが、どの企画も生徒の皆さんに喜んでもらえて良かったです。
 実行委員会の皆さん、生徒の皆さん、そして先生方、ご協力ありがとうございました。



「心をケアする力」

宮城県名取市の閉上(ゆりあげ)地区。人口八千人の漁業の町でした。昨年の津波により七百人以上の命が失われました。テレビで黒い津波が畑や民家を次々とのみこんでいく光景を見た人も多いと思いますが閉上上空からの映像でした。この閉上のすぐそばに桑山紀彦さんが経営する病院があります。彼は、震災翌日から二十四時間体制で病院を開け、診療を続けました。津波で何もかも失った人達にかける言葉が見つからず「とにかく一緒に泣くしかないかった」そうです。
 「患者さんと一緒に泣いては医者として失格。先輩からそう教わってきたけれど、そんなのは間違いだと思った。泣いている患者さんがいたら一緒に泣くんだって思いながらやってきた」
 心療内科が専門の桑山さん、現在は被災者の心のケアを中心に活動を続けています。そのようすはNHKの「クローズアップ現代」などや、雑誌「アエラ」などで紹介されました。先日、一月九日にもNHK総合で「明日へ心をつなぐ力」と題した番組が放映されました。
 この番組中で桑山さんは「心が元気になること。心が復活することが復興の大きな鍵」と言っています。そして、どうすれば傷ついた心に寄り添うことができるのかという問いに対して、「あなたのことが知りたい」という相手への興味と「この人は津波の日、どんな思いだったのだろう」と想像力を働かせることが、良い心のケアをするために不可欠だと語っています。興味(愛)と想像力が人の心を温めてくれるのです。
 みなさんは、この二つを持って人と接していますか？
 この桑山紀彦さん、来年の本校創立八〇周年記念講演の講師として本校に来られます。楽しみにしておいてください。

校長 山藤 美之

農業クラブ会長 植物科学科 大峠 文乃
 私は今回、農業祭実行委員会という大きな仕事を任されました。二学期は行事や進路などたくさんの方があり、とても大変でした。ですが、生徒企画委員が週一回集まり、どうしたら農業祭が盛り上がるかなどを話し合いました。一人ひとりが意見を出し、全校生徒が楽しめるような企画を考えてきました。
 農業祭当日、私たちが考えた企画がとても盛り上がり、全校生徒の楽しそうな顔を見ることができて嬉しかったです。
 実行委員長として農業祭に関わることができ、本当に良かったです。

家庭クラブ会長 食品科学科 荒木 唯
 十一月十六日、十七日の二日間、農業祭がありました。一日目のオープニングイベントでは、第一部の講演会から始まり、たくさんの方が参加しました。第三部では企画委員主催の出展クイズをしました。一月前から、農業祭の実行委員で準備をしてきました。全員がそろったことがなかなかできなかったし、なかなか進まなかったりしたけれど、本番で成功したのでよかったです。
 二日目の一般公開は生憎の雨でしたが、たくさんのお客様に会場に来ていただいて、本当によかったです。来年はもっといいものになればいいと思います。

1月～2月の行事予定

1/ 8	火	始業式、図書館が'仆'提出(1年)
9	水	木
10	木	作文テスト(1・2年)
11	金	製菓実習②
12	土	
13	日	
14	月	成人の日
15	火	
16	水	専門委員会
17	木	東京邦礼ショップ(～19日) バレ新人戦(～19日)
18	金	
19	土	数学検定 ウエイ中国選抜(～20日、岡山)
20	日	
21	月	
22	火	
23	水	
24	木	卒業試験(～25日)
25	金	第三回英語検定(一次)
26	土	
27	日	
28	月	
29	火	
30	水	出雲地区彫刻コンクール(～30日)
31	木	森林林業体験③
2/ 1	金	第三回漢字検定
2	土	
3	日	
4	月	
5	火	
6	水	高校写真展(～11日、県立美術館)
7	木	健康教育(3年)
8	金	サッカー新人戦(2次)
9	土	
10	日	
11	月	建国記念日
12	火	
13	水	問題解決型学習成果発表会(松江)
14	木	合格体験学年集会(1・2年)
15	金	



植物科学科 森脇 友香梨
 毎年のように、今年もあつという間に農業祭が終わってしまいました。大雨という天候にもかかわらず多くのお客様に来ていただいたことはとてもうれしかったです。また、それだけたくさんの方が農林高校の農業祭を楽しみにしてくださったと思うと、これからの実習や準備を頑張ってきたかいがあったと思えました。
 高校生活最後の農業祭ではありましたが、去年や一昨年と変わらず、一生懸命自分の仕事をして、精一杯農業祭を楽しむことができました。
 抽選会は、結局三年間で一度も当たりませんでした。たが、お客様の声を聞いたり、色々な展示が見られたりと、とても充実した二日間を過ごすことができました。

環境科学科 繁松 汰良
 今回、私たち環境科学科三年生は、おでんという毎年していたことから離れて、新しくクラス全員で考え、からあげとフライドポテトで勝負に出ました。目指すは売り上げでした。全てやるのが新しいことばかりなので、準備から問題だらけでした。それでも力を合わせて本番当日まで準備できました。しかし、本番当日の朝から雨という天気は最悪でした。それによって最後の農業祭なので、誰も成功する三年生にとって最後の農業祭なので、誰も成功するために頑張ってきました。そして本番では九時から始めました。始まって一時間で完売でした。あまりにも人気がありすぎて、途中でまた新たに買い出しに行くことも多々ありました。たくさんのお客様にきていただきとても幸せでした。
 私たち環境三年が一番の売り上げを上げたと思います。一日中ずっと揚げていたのでとても大変で疲れがハンパじゃなかったけど、それ以上に楽しいこと、嬉しかったこと、様々な達成感があり、本当にやってくれたと感じたし、最後の農業祭が良い思い出になって良かった。

環境科学科は最高のクラスです。



PTA、耕魂会の皆様
 ご協力ありがとうございました

食品科学科 寺地 恵里佳
 私たち三年生にとって最後の農業祭が終わりました。今年の農業祭では、フィナンシェやパウンドケーキ、キムチやジャムなどを販売しました。私は加工品を販売する班になり、お客様に対応する係になりました。農業祭当日は雨であるにも関わらず、朝早くからたくさんの方が並んで順番を待っていてもらいました。私は、班の人と協力しながらスムーズに販売することができ、本当に良かったです。今年も農業祭は、先生方が頑張ってくださり、とても協力的です。嬉しかったです。また一つ思いが増えました。農林最高。

動物科学科三年 黒田 七海
 私達にとって最後の農業祭が終わってしまいました。準備の時から当日雨という予報でしたが、皆一生懸命に役割を果たし、放課後も残って看板や食材・商品の準備をしていて準備期間もとても楽しく行えました。
 当日は予報通りの雨でした。雨にも関わらず朝早くから多くのお客様が来校して下さって本当に嬉しかったです。動物達も寒い中、頑張ってくれました。心に残る農業祭になりました。ありがとうございました。